

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 今泉クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター管理運営事業

- ・今泉クリーンセンターでのごみの収集及び処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,275	36,275	34,711		1,564

主な支出内訳

- ・今泉クリーンセンター管理運営事業

電気料	21,725
水道料	11,062
警備業務委託料	706
窓ガラス等清掃業務委託料	181
汚染負荷量賦課金	579

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-20 今泉クリーンセンター管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1168 施設管理事業					
主管課 分野名	今泉クリーンセンター	関連課	環境部内各課				
目 標 (目標値)	施設を適正に管理する。 適正な処理100%						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考 ・各年4月1日		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	収集対象人口	72,849人	72,231人	71,475人			
運営資源 状 況	決算値	34,711千円	32,775千円	32,689千円			
	(国・県)						
	(負担金等)	70千円	69千円	65千円			
	(一般財源)	34,641千円	32,706千円	32,624千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人 件 費	9,376千円	9,451千円	9,292千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	44,087千円	42,226千円	41,981千円			
	市民1人当 りの経費	250円	240円	240円			
	対象者1人 当りの経費	605円	585円	587円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
電気使用量の削減	◎	目標値	1,400,000Kwh	1,400,000Kwh	1,400,000Kwh	1,400,000Kwh	1,400,000Kwh
		実績値	1,420,890Kwh	1,395,150Kwh			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
水道使用量の削減	○	目標値	29,000m ³	29,000m ³	19,000m ³	19,000m ³	19,000m ³
		実績値	29,563m ³	29,484m ³			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 施設管理運営事業費の大半を占める電気・水道の使用量の削減
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 水道使用量削減のため、地下水等利用計画を策定し、ガス冷却水としての活用を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・地下水等利用設備を設置したが、地下水等にごみ、汚れ等の異物が混入するとガス冷却水のノズルが詰まってしまうため、安定した使用量の確保が難しい。 ・全ての機器を省エネルギー対応の機器に改修したいが、現存機器の耐用年数及び多大な経費との調整が必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 水道使用量削減のため、地下水利用設備等を改修し、安定的に地下水等の利用を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	ごみの焼却処理に当たっては、省エネルギー化に配慮して適切な修繕を行うとともに、設備の適正かつ効率的な管理に努める。		
担当課長氏名:	今泉クリーンセンター所長 石井 貞雄		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	焼却施設の管理運営については、省エネルギー化に一層配慮して適切な維持修繕を行っていきます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋